

平成31年度

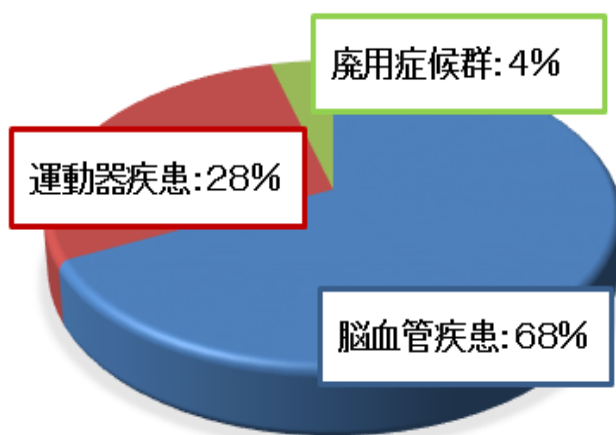
横浜なみきりハビリテーション病院 診療実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日に退院した患者様の分析)

『回復期リハビリテーション病棟』

当病棟では、以下の急性発症した疾患等の急性期治療後に、集中的なりハビリ加療を行い、在宅復帰の支援に力を入れています。

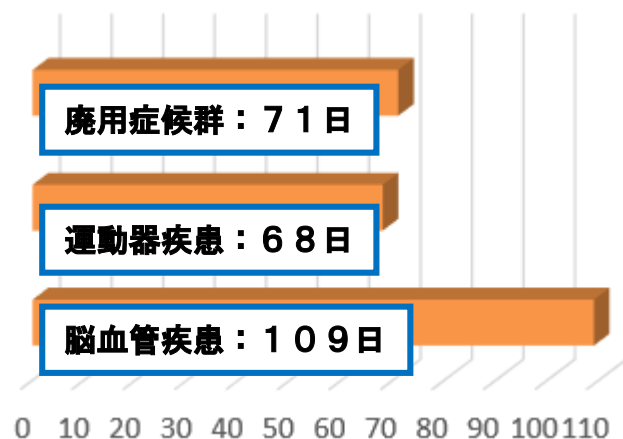
1. 疾患別患者数割合



・昨年度退院した患者数は562名で、その内の約7割の方が脳血管疾患の患者様でした。

・脳血管疾患では脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の順に、運動器疾患では大腿骨骨折、腰椎および骨盤骨折、脊椎障害の順に多く占めております。

2. 疾患別平均入院日数



・退院までの日数平均を疾患別に見た資料になります。なお、入院できる上限日数は以下のように定められております。

脳血管疾患：150日（180日）

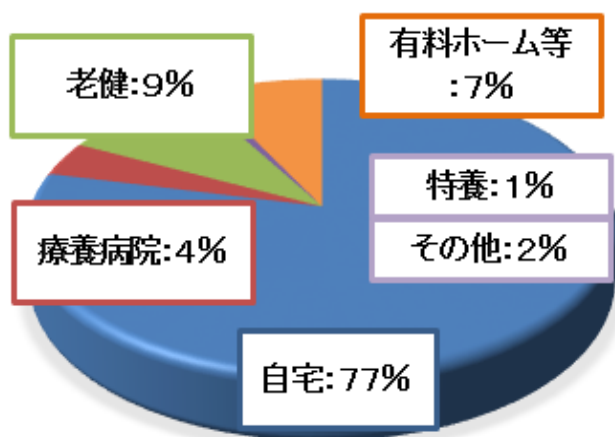
※高次脳機能障害を伴うもの等

運動器疾患：90日（60日）

※神経、筋又は靭帯損傷後等

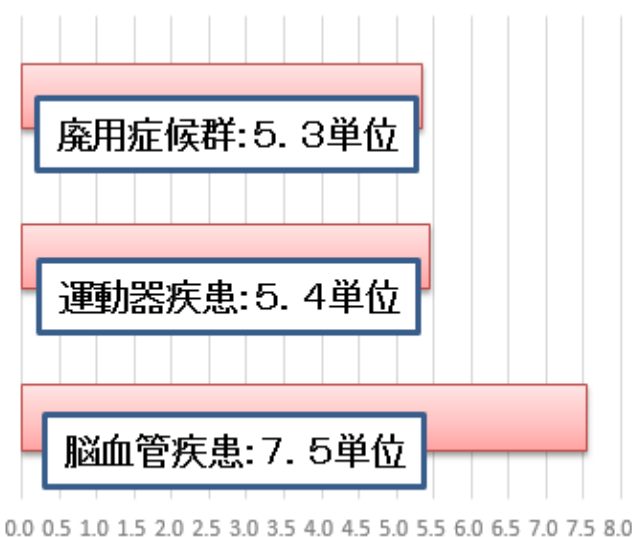
廃用症候群：90日

3. 退院先割合（在宅復帰率）



- ・患者様の退院先としては、自宅等の家庭への退院が約8割を占めており、次いで介護老人保健施設（老健）9%、社会福祉施設や有料老人ホーム等が7%となっております。
- ・在宅復帰率は年度を通して約9割でした。

4. リハビリテーション平均提供単位数



- ・左記は疾患別での1日当たりの平均提供単位数になります。リハビリ総提供単位数を入退院日や外泊日を含む総入院日数にて割って算出しています。

（1単位は20分間のリハビリを提供）

- ・脳血管疾患では1日約8単位、運動器および廃用症候群は1日約6単位のリハビリを提供しています。

5. 回復期リハビリテーション実績指数

実績指数：42.6

・実績指数とは、入院日数とその間の運動機能の向上を数値化した指標で、この点数が高いほど短い期間で身体機能が向上したことを意味します。

計算式
$$\frac{\text{各患者の（退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目の得点）の総和}}{\text{各患者の（入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数）の総和}}$$

6. 重症患者受入率・回復率

重症患者受入率：35.5%

重症患者回復率：62.0%

・新規に入院された患者様全員を対象として、日常生活機能評価票を用いて入院時と退院時の状態を評価しております。評価票は0～19点の構成で、得点が低いほど生活自立度が高くなります。

・重症の状態とはこの評価点数が10点以上の状態を指し、その状態の方のうち、退院時の状態評価が4点以上改善した方を回復率として計上します。

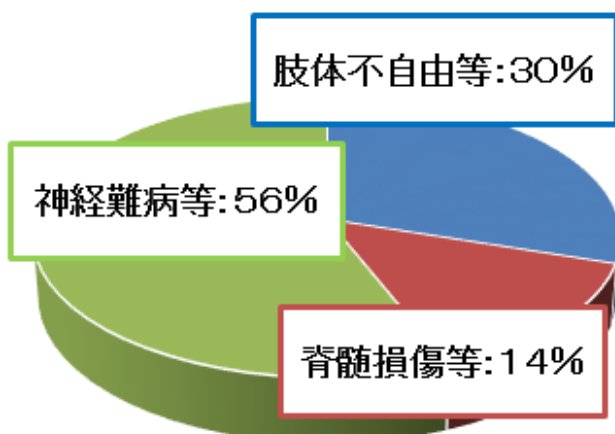
※重症の状態であっても受け入れを行い、かつ改善を得る事が出来たことを意味します。

・最も質の高い基準の入院料1の要件は、受入率・回復率共に30%以上と定められています。

『障害者病棟』

当病棟は、主に重度の障害を持たれた方（肢体不自由者）や神経難病の患者様の入院加療を行っています。

疾患別患者数割合



・約6割の方が神経難病の患者様で、疾患としては、パーキンソン病の方が9割以上となっております。

・長期に入院する方以外にも、1～2か月の短期間で集中してリハビリに取り組む方が常時数名おり、症状の進行緩和等を図っております。